

人 チーム 制度



ワークもライフも常に繁忙期！？ 子育てマネジメント能力を磨いて切り盛りする イクメンコンサルマン

いわもとじゅん
八千代エンジニアリング（株） 岩本 淳さん

今回ご紹介するのは八千代エンジニアリング（株）で農村・農業振興の仕事に携わる岩本淳さん。2014年に長男が誕生され、現在、共働きの奥様と一緒に2歳のお子さんを育てていらっしゃいます。

経歴について簡単に教えてください。

大学院では農業環境工学について研究していました。研究を通して得た知識・経験を社会で役立てたいと考え、八千代エンジニアリング（株）に入社しました。

入社後3年間は、環境計画部で水環境保全の仕事に没頭する毎日でした。その後、東日本大震災をきっかけに、まだ業務として定着していない新規分野の開拓に従事したいと考え、現在所属する技術開発部に異動し、現在は主に農村・農業振興に取り組んでいます。

共働きということで時間のやりくりが大変だと思うのですが、家事・育児の分担はどうされていますか？

週2日は、私が保育園の送り迎えと帰宅後の家事、子どものお風呂・寝かしつけまでを担当しています。残りの3日は妻の担当です。週末も家事・育児を分担していますが、平日の私の帰りが遅い分、妻の方が圧倒的にウエイトは大きいです。

時短勤務にあたり苦労した点を教えてください。

とにかく時間に追われることですね。時短勤務は、午前10時から午後17時の勤務時間です（通常勤務は午前9時から午後18時）。チーム内での仕事調整については上司・周囲の理解と協力のもとで実践しています。しかし、同じ専門分野の人間

プロフィール

氏名 : 岩本 淳 (31)
所属 : 八千代エンジニアリング（株）
技術開発部
勤続年数 : 8年目
資格 : 技術士(農業・環境)
居住地 : 千葉県船橋市
家族構成 : 妻(31) / 長男(2)
勤務状況 : 育児短時間勤務

経歴

2009年3月	八千代エンジニアリング(株)に入社、環境計画部に配属
2011年4月	結婚
2012年7月	技術開発部に異動
2014年9月	長男誕生
2015年3月	技術士(環境)取得
2015年4月	育児取得(3週間)
2015年5月	時短取得
2016年4月	育児・家事の役割分担を見直し

がない現部所では、簡単に代役が立てられないという問題があります。そのような条件のもとでの業務の時間確保や仕事内容の調整は今でも苦労している点です。

また、泊まり出張の前後は仕事と家事・育児の両方にしわ寄せが来るため、対応するのが大変です。さらに、子どもが体調を崩し突然出社できなくなることもあります。

時間に追われる中で時短勤務を続けるにあたって工夫している点とは何でしょうか？

仕事面では、農村・農業振興分野で新入社員やほぼ専属のアルバイトを配置してもらい、マンパワー向上をはかりました。また、子どもの体調によって予定が常に変わる可能性を視野に入れて、早めに指示をするよう心がけています。家庭面では、夫婦がお互いの仕事状況をリアルタイムに共有できるスマホアプリを活用し、お互いスケジュールが立てやすくなるなど意思疎通の向上に役立っています。また、家事時間削減のために食洗器や洗濯乾燥機を導入するなど、日々の生活も工夫しています。後は要望となりますが、制度面として**社会的・業界的な労働環境改善・残業制度の見直しにも期待**しています！

最後に、時短勤務を検討しているパパ・ママに一言！

私自身、仕事面についても家庭面についても、常に問題点を抱えながらも少しずつ試行錯誤している最中です。それでも、この1年半時短勤務を続けてこられたのは、「**家庭第一**」と理解・支援してくれる上司や仲間の存在のおかげです。職場で育児を「**支えられる**」側であった人が、**ゆくゆくはその経験を活かして次の子育て世代を「支える」側**になって恩返しをする、そんな好循環を作っていけたら素敵ですね！

お迎えだよ、今日はちゃんと靴を履いてくれるかな？



夕食づくりは時間との闘い！

ある1日のスケジュール

7:00	起床 検温 朝食
8:30	出発
8:45	保育園送り スマホでメールチェック
10:00	出社 後輩・アルバイトの状況確認と指示 昼休み返上(急いで昼食のみ) 後輩の状況確認と指示
17:00	退社
18:00	保育園お迎え 買い物
19:00	帰宅 妻帰宅(家事・育児分担) 夕食づくり
20:00	夕食 遊び・絵本
21:00	お風呂 歯磨き(大変)
22:00	寝かしつけ
23:00	就寝

時短勤務時間